

平成28年度地域活性化起業家支援事業支援事例
平成29年度スタートアップ起業家支援事業支援事例



ゲストハウス 奄美ロングビーチ

設立	H28年11月	住所	〒894-0621 奄美市笠利町用字前金久146番1
資本金	—	TEL	090-8407-8500
従業員数	2人	FAX	0997-63-8586
代表社員	久保 健市	H P	https://amami-guesthouse.jp/
業種	簡易宿泊所		

採択テーマ

過疎集落の空き屋対策と集落活性化の一助として開設したゲストハウスのリニューアル

事業内容（取扱商品・サービス）

空き家活用での笠利地域を活性化するためのゲストハウス「奄美ロングビーチ」の運営

- ・奄美体験ツアー：農業体験、漁業体験、島唄体験等
- ・施設内容：6部屋（最高18名宿泊可能）、冷蔵庫・Wi-Fi・台所・エアコン・浴室等

補助内容

- ・設備購入（浴室追焚，洗面台，Wi-Fi，エアコン）
- ・ホームページリニューアル

成果

- ・設備購入でお客さまの不自由を解消できた。
- ・ホームページの予約フォームリニューアルにより利便性が向上し、予約増となった。



起業のきっかけ

- ・世界自然遺産登録をめざす奄美に観光客向け宿泊所が不足している。
- ・過疎地や集落の空き家を活用し、宿泊所を開業し、地元民との交流の場を作りたいかった。

苦労したこと、工夫したこと

ゲストハウスに宿泊したことにより、奄美への移住者が増えた。家を探す間スタッフとして住み込みをしていただいているが、部屋が足りず急遽スタッフルーム（プレハブ）を設置した。これが、オーバーブッキング（二重予約）のお客様用としても活用できている。

現在の状況・課題

- ・ゲストハウスの運営は集落民の理解がなければ成り立たないため、宿泊客には騒音防止、夜間外出禁止、集落の行事等への参加を促す「ハウスルール」を作成し、チェックイン時に協力を依頼している。
- ・ビーチの清掃をスタッフ共々時間の空いた時に行っているが、海遊び後の宿泊者にも協力をお願いしたい。
- ・大学生等多人数合宿時の騒音を防ぐことが難しい。

今後の事業展開

- ・敷地内に家庭菜園を作っているのでも、宿泊者にも開放していきたい。
- ・キャンプスペースを作り、テント持ち込みのお客様に提供したい。
- ・現在行っている体験プログラムを増やし、集落の人にもっとガイドとして加わってもらい集落活性化につなげたい。